

DP4：人間力

●定義：多様な価値観をありのままに認め、受け入れる心と他者を思いやり協働する力

- 子どもや人々の思いや考えを認め、尊重することができる
- 子どもを取り巻く人々と協力して保育ができる

DP3：遊び力

●定義：「子どもの遊び」の本質を理解し、その世界を共有しながら、子どもとともに自らも楽しむ力

- 「子どもの遊び」の意味を理解することができる
- 自らも楽しみながら、子どもと一緒に遊ぶことができる
- 子どもの能力を引き出す遊びを創造することができる

DP2：表現力

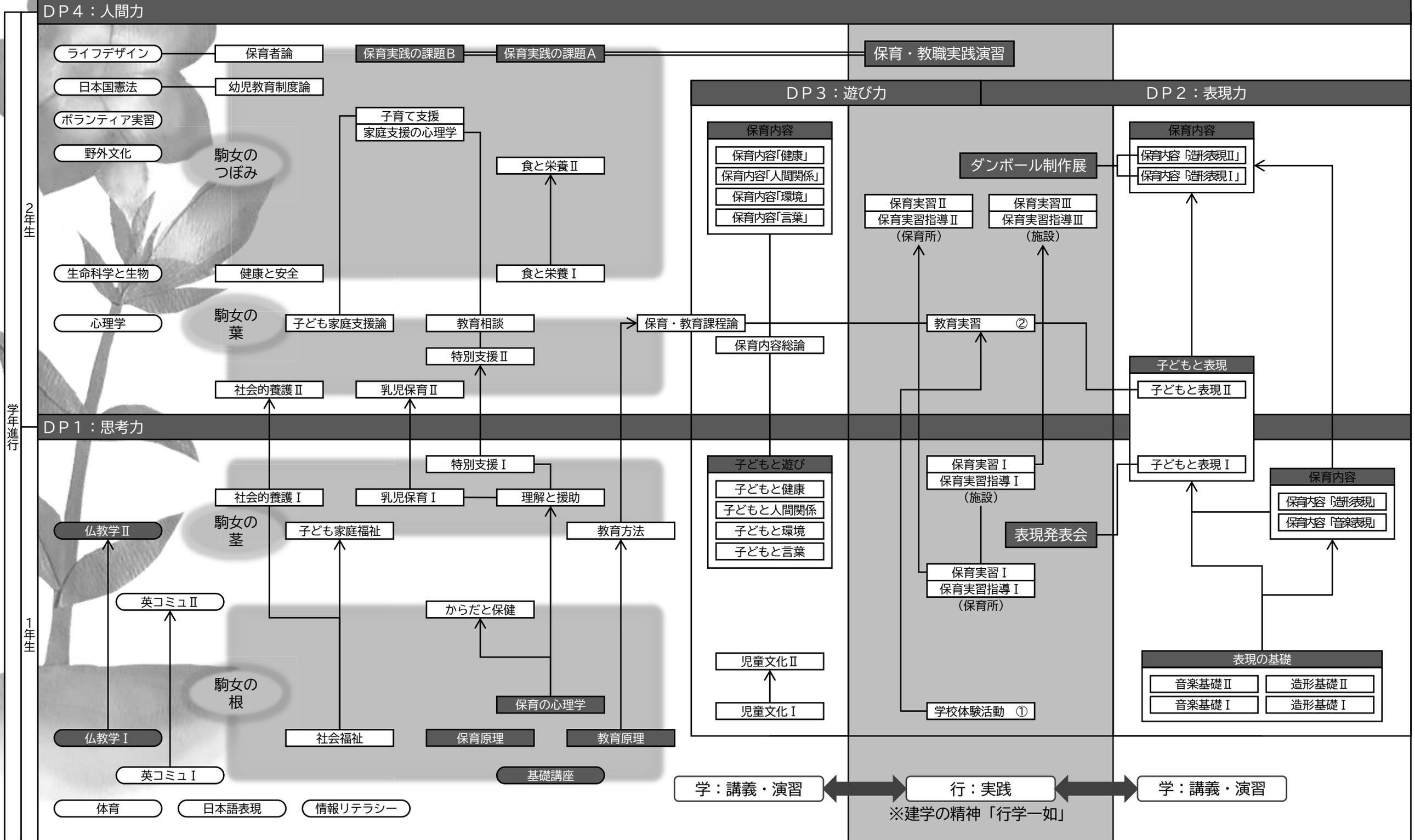
●定義：子どもをはじめ人々のもつ想・奏・創の限らない表現に気づく視点（感覚）とそれを広げる専門的技術、また、自らもこれらを豊かに表現する力

- 自分が感じたことを文字や言葉で豊かに表現できる
- 自分が感じたことを身体・音楽・造形を通して表現できる
- 子どもがのびのびと表現できるよう援助することができる

DP1：思考力

●定義：真理の追求に努め、柔軟に判断・解決する多角的視点と創造的思考力

- 子どものありのままの姿を捉えることができる
- ひとりひとりの考えや思いに気づくことができる
- それらを柔軟に保育に活かすことができる



【卒業までの学びのポイント：卒業後に④自分らしい花を咲かせるため、本学では、①根 ②茎・葉 ③つぼみの育ちを大切にしています】

- ① 根：基幹科目『仏教学Ⅰ・Ⅱ』『基礎講座』『教育原理』『保育原理』『保育の心理学』を中心に学修し、【思考力】の土台づくりを目指しましょう。
 - ② 茎・葉：2年間で5回の『実習』や、基幹科目群『子どもと遊び・表現』『保育内容』の学修や行事『表現発表会』『ダンボール制作展』に取り組み、【表現力】や【遊び力】を身に付けましょう。
 - ③ つぼみ：これまで身に付けた3つの力を活かしながら、保育現場『保育・教職実践演習』や社会『現代保育実践の課題A・B』に関する事項を中心に学修し、自身の【人間力】を高めましょう。
- ※4つの力【思考力】【表現力】【遊び力】【人間力】は個別に発揮されるものではありません。あらゆる場面で総合的に活用することを意識してください。

【科目の分類】

